

# くずまき 議会だより



**24年度決算を認定！**

**安心して暮らせる町づくりに87億円 2p**

**一般質問 ～2議員が町政を問う～ 6p**

**定例会で決まったこと 8p**

**第60回岩手郡議員大会 ～葛巻開催～ 10p**

**インタビュー ～岩手ケーブルテレビ葛巻センター長～ 12p**

笑顔のつどい



今月の表紙

舞スマイルダンス  
教室のみなさん

# 行財政改革を進め

# 全会計が黒字

安心して暮らせる町づくり  
総額87億円

## 9月定例会

9月定例会は、9月6日から17日までの12日間の会期で開催されました。  
町長から提出された議案は、24年度各会計の決算認定のほか、25年度一般会計と特別会計の補正予算や条例制定など16件、議員発議案2件が提出され、すべて原案どおり「決定」されました。  
また、9日に行われた一般質問では2名の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



安全な町づくりを町民に呼びかける 葛巻保育園児（町民安全大会）

## 監査委員の意見

24年度決算はすべての会計が黒字で、各種財政指標も全般的に改善されており、財政運営の健全性が維持されています。  
景気の低迷や社会情勢の変化による影響で、町税などの収入の落ち込みを見据え、今後も健全な行政運営を望みます。  
収入未済額は、すべての会計で減少しており、

職員の努力と収納率向上への取り組み成果が表れています。

地方分権改革が進む中、本町の財政運営は約8割を地方交付税などの財源に依存している財政構造のため、自主財源の確保は大きな課題です。  
今後、収入未済額の削減に向けてより一層の工夫をし、収納確保に引き続き努力するよう求めます。

## 決算の概要

24年度の一般会計と5特別会計の支出額は87億562万円で前年度比5億2427万円、6.4%増加しました。  
一般会計は、支出総額63億7365万円で前年度比4億6549万円、7.9%増加しました。  
大きな要因は、地域情報通信基盤施設拡充整備事業などが完了したことによるものです。  
また、5特別会計の支出総額は、23億3197万円で前年度比5878万円、2.6%増加しました。  
24年度の会計別の決算状況は下の表のとおりで、一般会計と5特別会計、すべて黒字決算です。

## 24年度会計別の決算状況

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	収支差引額
一般会計	68億7,927万円	63億7,365万円	5億 562万円
国民健康保険事業	11億3,671万円	10億9,101万円	4,570万円
簡易水道事業	1億7,594万円	1億7,206万円	388万円
農業集落排水事業	2億 775万円	1億9,464万円	1,311万円
後期高齢者医療事業	6,883万円	6,508万円	375万円
国保葛巻病院事業	8億5,158万円	8億 918万円	4,240万円
合計	93億2,008万円	87億 562万円	6億1,446万円

24年3月31日現在の基金(貯金)残高は、36億5870万円で前年度比6億8494万円、23%増加しました。  
地方債(借入金)残高は、83億8724万円で前年度比3億2418万円、3.7%減少しました。

## 財政健全化判断比率は「健全」を維持

財政健全化法に基づく、24年度の一般会計や特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

### ●健全化判断比率

各指標	24年度	23年度	比較
実質赤字比較 (15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比較 (20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率 (25%)	9.4%	11.1%	△1.7
将来負担比率 (350%)	なし	12.6%	△12.6

※各指標の( )内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。  
※将来負担比率は、将来負担見込額が充当可能な財源の額を下回り、比率なしとなりました。



町長に決算審査意見書を提出する監査委員

### ●資金不足比率

経営健全化基準は20%で、簡易水道事業、農業集落排水事業、病院会計事業のいずれも資金不足は発生していません。

設の漏水による修繕した件数は、107件。うち54件が江川簡易水道施設の修繕で、全体



水道管の老朽化で江川地区の水漏れが増加（写真：岩脇地区）

**江川簡易水道 建設**

問 江川簡易水道の、水漏れによる修繕状況は。

答 24年度の簡易水道施設

**特別会計**

**医療体制の立て直しは**

問 病床利用率が低下しています

葛巻病院

の50.5%を占めています。25年度は、江川簡易水道が52.8%で、葛巻簡易水道が33%の状況です。

設に向けた医療体制の立て直しの考えは。  
 答 病床利用率を上げるため、医師を交えた会議などで対策を検討しています。  
 また、医療改善のプロジェクトを立ち上げ、安心して入院を過ごせるように、質の高い看護を提供する取り組みも行っていきます。  
 そのほか、何でも相談コーナーを設置し、皆さんが気軽に相談できる体制を整えました。

**心の相談員 増員の考えは**

教育委員会

問 心の教室相談員への相談件数が増加していますが、増員する考えは。

答 現在、各中学校に1名配置して相談に対応しています。  
 相談件数が増加していますが、問題が多いため増加しているものではないと認識しています。相談員を信頼し、何でも相談できる良い環境にある

**賛成討論（要約）**

**山岸 はる美議員**

私は、24年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成の立場から討論します。

歳入では、道路・農林・教育・情報通信基盤施設などの補助事業の導入や、震災復興特別交付税などにより、所要の収入が確保されました。

歳出では、町民の安全・安心な暮らしの実現に向け、積極的かつ重点的に事業に取り組み、産業振興、教育振興などの分野で着実に推進しました。

特に評価すべき事業は、地域情報通信基盤施設拡充整備事業の「防災情報伝達制御システム」や「エリアワンセグ放送

設備」の新設などにより、災害情報などをリアルタイムで受信できる体制が整備されました。  
 教育振興では、葛巻小学校屋内プールを整備し、一般町民にも開放され、町民が体力づくりできる環境が整いました。

各施策分野において、ハード・ソフトのバランスをとりながら、各種事業が重点的かつ効率的、効果的に執行されたことを高く評価します。

特別会計は、予算の趣旨に沿った執行がされ、所期の目的がおおむね達成されています。

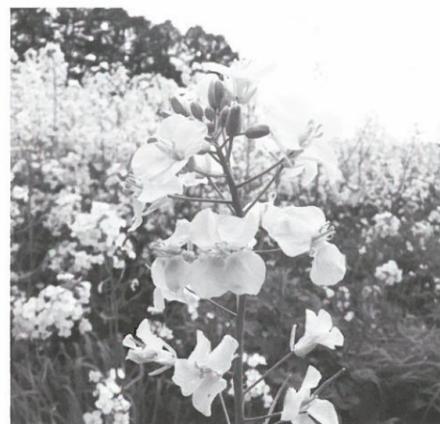
また、新病院の建設は、町民の大きな期待があり、安心して診療が受けられる医療体制づくりを進められるよう期待します。

**反対討論なし**

**決算特別委員会**

決算特別委員会（嶋岡明男委員長、柴田勇雄副委員長）を設置し、9月11日に各会計の24年度決算の審査を行いました。  
 主な質疑の内容をお知らせします。

今後も自治会活動の要望に応え、地域の様々な活動を積極的に支援していく考えです。



鮮やかな黄色い菜種の花に心も和みました（車門）

**一般会計**

**自治会活動 支援の継続は**

総務企画

問 高齢化により自治会活動の実施が困難になっていますが、今後も自治会活動に対する支援の考えは。

答 少子高齢化が進む中、町では、協働のまちづくり事業や自治会活動交付金などにより、安心で安全な地域づくりを目指す活動の取り組みを支援しています。

**橋の修繕工事 今後の計画は**

建設水道

問 橋の長寿命化修繕計画による、修繕実績と今後の整備計画は。

答 計画の工事は、橋の架け替えをしないで約20年間の延命化を図る内容です。

22年度から24年度までに、鍋倉橋、赤平橋、繫橋、岩井沢橋の改修を終えています。

25年度は、田野橋と寺畑橋を改修する予定です。  
 次年度以降は、さらに調査を進め、毎年二つの橋を改修する計画です。

**菜種栽培の 作付け拡大は**

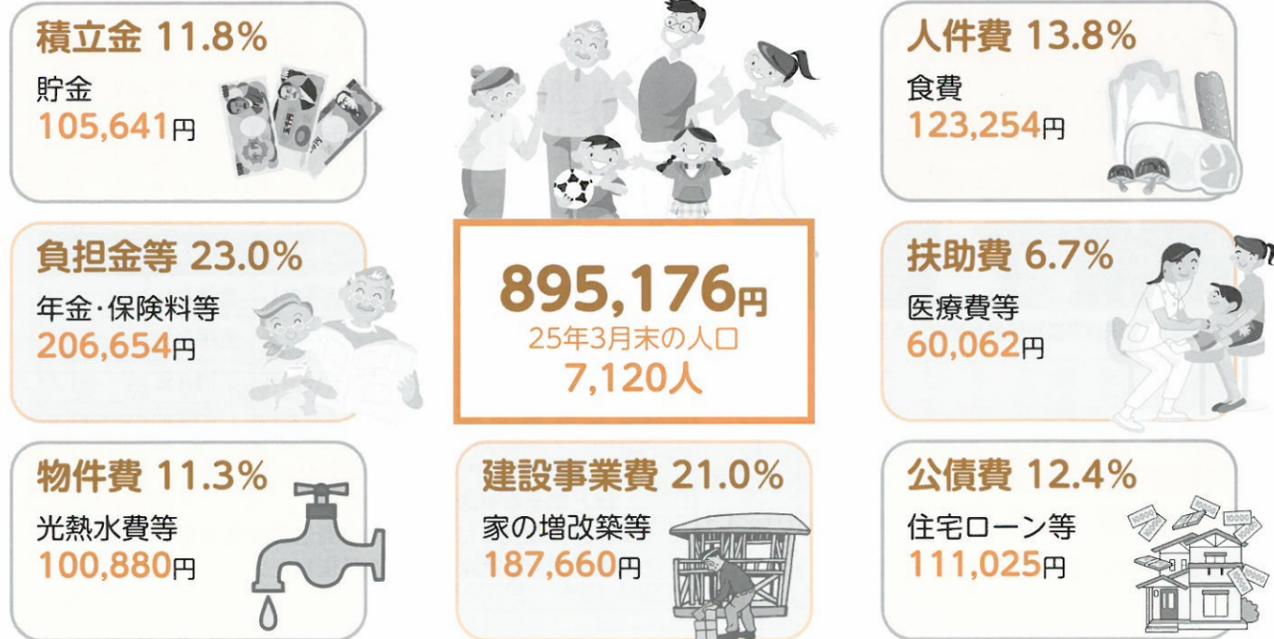
農林環境

問 耕作放棄地解消のため、菜種の作付けを拡大する考えは。

答 菜種は作付けが容易で、雑草にも強く、緑肥の効果もあります。耕作放棄地を発生させないように農地を維持する方策として、作付けを進める考えです。

また、一つの作目に限定することで、収穫などの作業機械が1種類で済み、共同利用することで投資の面でも効率的と考えます。

**24年度一般会計の支出を町民一人当たりになると（家計簿に例えると…）**





あねたい はるじ  
姉帯 春治 議員

問

## 松くい虫被害の防止策 対応と処理方法は

答

### 被害の早期発見に努め、 適期に適正な除間伐を推進

松くい虫の被害があった場合の木材の処理方法ですが、県の「松くい虫被害対策推進大綱」により、被害の拡大を防止する総合的な被害対策を行うこととなります。これまでの例では、薬剤による燻蒸処理が行われて

**議員** 全国的に松くい虫(注)の被害が拡大していますが、被害防止の対策と、被害があった場合の木材の処理方法は。また、山林所有者が、今後アカマツを守っていく方法は。

**町長** 本町では、まだ被害が確認されていませんが、県や近隣市町村などと緊密に連携しながら、松くい虫被害の浸入を防止するため、巡回パトロールなどにより被害の早期発見に努め、適期に適正な除間伐を推進し、被害の未然防止に努める考えです。

**議員** います。また、駆除処理を行う場合は、国や県の補助事業を導入し迅速に対応します。山林所有者がアカマツを守っていく方法ですが、松くい虫被害は、雪害木や風倒木などの弱った松に感染しやすいと言われています。

定期的な山林巡視を実施していただき、国の森林整備事業を活用した適期に適正な除間伐を実施することにより、健全な森林を育成し、町と森林所有者が共に松くい虫被害の浸入防止に努めていきます。

(注)松くい虫とは「マツ材線虫病」が正式名称であり、この病気は、マツノザイセンチュウという体長約1ミリメートルの線虫によって松が枯れる伝染病です。

問

## 地域防災計画 見直しの考えは

答

### 12月の完了に向け 見直し作業中

**議員** 町民の「安全・安心」につながる対策について伺います。

① 町地域防災計画は、平成19年から修正がなく見直しが急務と見えますが、その対応策は。

② ドクターヘリの運航要請や町民の利用実績は。

③ 地域情報通信基盤システムを活用した高齢者等の見守り、買い物支援の福祉対策は。

④ 家庭内で聴くことができるFM音声告知放送機器、全家庭への設置は。

**町長** ① 町地域防災計画の見直し作業に着手し、現在精査中の段階で、12月完了予定です。

② ドクターヘリの運航は、「救急現場出動」と「病院間搬送」の二つがあります。救急現場出動は、重症度により消防署が判断し、出動要請します。病院間搬送は、病院医師が、医学的見地から緊急搬送が必要と判断した場合に、転院先病院との事前調整の上、運航要請します。ドクターヘリは昨年5月から運航し、県内ではこれまで盛岡広域管内の要請回数が一番多く、そのうち本町は36回要請し、最も多く活用しています。運航費用の個人負担は無料です。

③ 地域情報通信基盤を活用した高齢者等の見守りなどのシステムの構築は、国・県立大学・町内関係団体で構成するICT(情報通信技術)活用会議の中で検討予定です。将来需要を見据え、生活利便向上が図られるシステムづくりを検討します。

④ FM音声告知放送機器はこれまで400台購入し、さらに今回の補正予算で1200台予算計上しています。今後、早い機会に全家庭に設置するよう努力します。



しばた いさお  
柴田 勇雄 議員

## 茶屋場田子線 連絡道の整備は 本路線と並行し 整備を検討

**町長** 茶屋場田子線の連絡道は、本路線の整備と並行して検討します。また、まちなか整備構想との整合性も図りながらの整備を考えます。

**議員** 新たに町道茶屋場田子線が整備されますが、並行する国道281号線と結ぶ連絡道が必要と考えます。その対応策は。

町道葛巻浦子内線の浦子内入口(大明神)と大橋周辺の町道は、普通車両のすれ違いができず、岩の崩落箇所もあるなど大変危険な状況です。また、町裏線の葛巻保育園から大橋周辺までの町道と側溝が大変傷んでいます。その改修整備計画は。

浦子内入口と大橋周辺の拡幅計画は、茶屋場田子線の整備と並行して改良すべき重要路線と認識しています。大橋の架け替えの課題もあります。

町裏線の改修整備は、排水側溝の整備も含め抜本的な道路改良の事業費が見込まれることから、町中心部の道路交通体系のあり方などを考慮しながら整備を進めます。

## 青刈橋周辺の 整備計画は 早期の事業実施 厳しい状況

**町長** 青刈橋周辺の整備計画は、唯一の公共交通機関であるJRバスの運行に支障を来すことのないように、通行する車両などが安心して通過できる道づくりを、県に対して強く要望します。

**議員** 青刈橋周辺の、今後の整備計画は。

**町長** 主要地方道一戸・葛巻線で、拡幅されずに残っている狭い道路箇所は改良整備には大規模な工事が予想され、多額の事業費が見込まれます。

県では、早期の事業化は厳しい状況と考えており、今後の交通量の推移や県全体の道路整備の進捗などを踏まえながら検討

また、青刈橋の整備工事は、本年度着手する予定です。主な整備内容は、両岸の石積みみの取付け擁壁の補強、コンクリート版の設置による床版の補強などです。

なお、橋の補強を目的とする工事のため、青刈橋の周辺の道路工事は行わない予定です。



江刈地区での防災訓練



補強工事が予定される青刈橋(一戸町境)

# 9月定例会で決まったこと



江刈小学校の児童と一緒に給食をとる議員

## 請願・要望・意見書

●葛巻町立江刈小学校校舎改築に関わる要望書  
江刈地区教育振興会と江刈小学校PTAから、江刈小学校の校舎改築に関わる要望書が提出され、9月10日に輝くふるさと常任委員会で審査を行いました。

この要望は、校舎の状態を確認する必要があるため現地調査を併せて行いました。現地調査に先立ち、江刈小学校の児童、教員の皆さんと一緒に学校給食をとりました。学校生活の様子や給食の感想などを聞きながら交流を深めることができました。

また、冬期間の教室は暖房中でも10度以下で学習している状況と説明を受けました。審査の結果、この要望は『採択』と決定。併せて江刈保育園も築40年程経過していることから、小学校と保育園の併設を検討するよう意見を付し、当局に要望の内容を



校舎内の壁などの破損状態を確認する議員

●「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情書

全国森林環境税創設促進議員連盟から提出された陳情は、審査の結果『採択』と決定し、内閣総理大臣のほか衆参両院議長などに、意見書を提出しました。

## 請願などの審査方法

請願や陳情、要望が提出された場合は、輝くふるさと常任委員会に審査を付託して行います。審査は、委員同士が自由に意見を出し合って討議し、出された意見をまとめる調整が必要なため、会議をいったん中断して休憩中に行っています。現在、休憩中の審査の様子を放送しておりますので、皆さんからご理解をいただきたいと思っております。

## 葛巻病院改築用地取得費など 一般会計に3億5613万円

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計	3億5,613万円	57億5,768万円	
特別会計	国民健康保険事業	6,798万円	11億1,980万円
	簡易水道事業	3,885万円	2億9,872万円
	病院事業（資本的収支）	1億4,450万円	2億1,304万円

### 《補正予算の主な内容》

- 葛巻病院改築による建設用地の取得費など（病院会計への繰り出し金）……………1億4,450万円
- 屋外放送の内容を屋内で聞くための機器購入費など……………3,760万円
- 除雪機械格納庫の建設用地の取得費など……………1,300万円（内田子地区に建設予定）
- 防災備蓄倉庫、備蓄用資材の購入費など……………1,043万円
- 商店等設備更新支援事業補助金などの増額……………1,000万円

25年度補正予算、条例の制定や請負契約の締結などの審議が行われ、原案どおり『決定』されました。主な内容は次のとおりです。

## 補正予算

一般会計に3億5613万円追加し、総額を57億5768万円としました。支出では、財政調整基金に2億円を積み立て、総額7億2250万

円。町の基金（貯金）総額は39億9312万円になります。

各会計の補正額とその他の主な支出の内容は、上の表のとおりです。

## 条例制定

●子ども子育て会議条例  
24年8月に制定された「子ども子育て支援法」により、町が実施する子育て支援施策などの調査や審議を行う機関を新たに設置しました。

## 請負契約

●24災67号・75号道路災害復旧工事  
24年2月に発生した低温により、路面がひび割れた町道（土谷川・鳩岡地内）の復旧工事です。  
◇契約額 1億1288万円  
◇工期 26年3月18日

◇契約相手  
（株）阿部土建エンタープライズ

## その他

●盛岡地区広域消防組合規約等の一部変更の協議  
●岩手県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少の協議  
26年1月、滝沢村が市に移行し、組合から脱退することの協議や規約の変更。  
●盛岡北部事務組合規約等の一部変更の協議  
経費の負担割合の見直しによる規約の変更。  
●町有自動車の事故に係る和解  
九戸村山根地区で、相手方の衝突によって起きた役場車両の交通事故の和解に関して、損害賠償の内容を議決。

## 道州制導入に断固反対する意見書

全国町村議会議長会から各都道府県議長会を通じて意見書の提出依頼があり、審査の結果『意見書を提出』と決定し、内閣総理大臣のほか衆参両院議長などに、意見書を提出しました。

# 岩手郡の共通課題

# 早期解決を！

## 葛巻で郡議員大会開催

### 道路整備など、要望6項目を満場で承認

節目となる第60回岩手郡町村議会議員大会（岩手郡町村議会議長会主催）が7月26日、くずまき高原牧場「もく・木ドーム」で開催されました。県議会議員や郡内の町村長、議員など約120人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認し親交を深めました。

#### 郡内議員が集結

この大会は、郡内の町村議会が、共通する地域課題の早期解決に向け互いに協力して検討するため、毎年開催しています。大会では、鈴木満輝くふるさと常任委員長が議長団を務め、中崎和久議長が本大会の意義を強調するため、大会宣言を行いました。

続いて、道路整備など6項目の要望事項を、各町村の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、山岸はる美議員が「林業振



提案説明する山岸議員

興対策の推進」について、県産木材の活用、再造林の拡大や作業路網の整備促進が重要であると説明しました。満場一致で承認された要望6項目は、郡町村議会議長会が後日、県選出国会議員や国、県の関係機関に対して要望活動を行いました。



大会宣言を行う中崎議長（左側）と、議長団を務める鈴木委員長（中央）

#### 要望提案事項（要約）

- ① 広域的な観点からの国道整備の早期実現
- ② 地域振興の観点からの県管理道路の整備促進
- ③ 活力と魅力ある農業・農村を復活させる農業振興対策の推進
- ④ 林業担い手確保対策など林業施策の充実強化
- ⑤ 県立高等学校の存続
- ⑥ 医療保険制度等の改善



自民党本部に要望書を提出する郡内議長ら（中央：浜田幹事長代理）

#### 基調講演

大会終了後、NPO法人オフィス町内会（東京都）の半谷栄寿代表（はんがひさひさ）の半谷栄寿代表を講師に招き、「岩手・間伐の促進と 福島・南相馬の復興に取り組む」と題した講演が行われました。



福島復興の思いを語る半谷氏

半谷氏は、事務所などから出る古紙を共同で回収し、リサイクルすることでコストが軽減され環境の保護につながると考え、共同回収事業を行う

「オフィス町内会」を設立し、社会貢献活動や間伐促進事業を展開しています。また、本町の森林を舞台に、「アウトオブキツザニア活樹祭」を開催するなど、森林を通じた環境保護や復興支援に取り組んでいます。

半谷氏は、東日本大震災で被災した南相馬市の出身で、福島の復興支援のため太陽光発電所や野菜工場を整備し、この施設を活用した子どもたちの体験学習を行うなど、福島の復興に対する強い思いを話されました。森林を通じた環境づくりや復興支援に奮闘している熱い思いを感じ、森林や環境を守る取り組みが、大切であることを再確認しました。

# インタビュー



岩手ケーブルテレビジョン 葛巻センター長

あべ しんいち  
**阿部 新一** さん (54歳)

## 地域に親しまれるサービスを提供



### Q. 自己PRをどうぞ。

盛岡市の出身です。10月1日から、くずまきテレビの維持管理の業務で、葛巻センターに勤務しています。主に、利用料金の徴収やテレビ放送の不具合の対応などで、皆さんにお世話になっています。

趣味はドライブです。妻の実家が東京都なので、関東方面に年3回ほどドライブしています。また、実家がりんごの果樹園を営んでいるので、週末には農作業を手伝っています。

### Q. 葛巻町の印象は。

くずまき高原牧場まつりなどのイベントが好きで、葛巻町に

は以前からよく訪れています。とても自然が豊かで、袖山高原の風車や放牧風景など、景色がすばらしい場所がたくさんあります。

くずまきワインも好きで、ワインパーティーにも参加しています。

### Q. くずまきテレビの開局した時から、議会議中継の業務などに携わっています。

特に、議会議中継は生放送のため、町民の皆さんに放送内容をしっかりと伝えるため、緊張感を持って行っています。

### Q. 町民へのメッセージを。

葛巻町の情報通信基盤施設が充実しているので、皆さんが、便利な機能をもっと利用していただけるように、直接お伺いしながら利用方法を説明していきます。

さらに、町民の皆さんに親しまれるサービスを提供していきたいと思えます。

## 江刈小学校のみなさんからプレゼント

9月10日に議会で給食を一緒にとり、有意義なひとときを過ごさせていただきました。その際に、江刈小学校の児童のみなさんから、学校で飼育している羊の毛を使った手作りの人形（左の写真）のプレゼントがありました。

とても、かわいらしく、羊の毛の温もりを感じる人形です。大変ありがとうございました。



## 情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

7月	15,000円	( 誠心会納涼夏祭り ほか )
8月	29,000円	( 馬淵川清流川下り ほか )
9月	12,000円	( 高砂荘敬老会ほか )

広報発行常任委員

辰 柳 敬 一

## 編集後記

早いもので、今年も食欲の秋、実りの時期を迎えました。全国各地では、大雨や竜巻による災害が発生していますが、この原因は地球温暖化によるものと言われております。日々、省エネを意識した生活に心がけようと考えております。皆さんも、地球にやさしい生活を心がけていただければと思うところです。

